2014　愛知県立大学スクールソーシャルワーク教員研修

ニューズレター　No.3

2014年12月4日

School Social Work Teacher Training Program Newsletter　発行：SSW 教員研修事業事務局

（TEL & FAX: 0561-76-8724　tsuboi@ews.aichi-pu.ac.jp）

スクールソーシャルワーク教員研修参加者の皆さん　こんにちは。もう12月、めっきり寒くなりましたが、皆さんいかがおすごしでしょうか。

さて、今週末には第３回の研修会です。そのプログラムをご案内させていただくとともに、第２回の研修会で実施したアンケート回答の内容をまとめてみました。さらに、あらためて１月合宿についてもご案内しておりますので、出欠票の提出をお願いします。

■　第3回 12月6日のプログラムのご案内

12:30～　受付
1:00～1:05　事務連絡
1:05～2:10　教育現場の課題と本研修への期待（その３）
【9名：氏名略】
2:10～2:35　教育実践とスクールソーシャルワーク（その２）【TA：早川真理／水野みち代】
（休憩15分）
2:50～4:20　事例演習（１）いじめ・虐待とソーシャルワーク【ゲスト講師石田・山本】
4:20～4:45　事例演習におけるアセスメントシートの説明【宇都宮】
4:45～5:00　参加者アンケート（感想・コメント）記入

■　第２回（11/8）のアンケートのまとめ

吉川講師の講義について

①相談援助の理念として人権と人間の尊厳を学びましたが、手助けを受けるのも、それが本人の選択、自己決定に基づいたものであれば自立であると分かり、勉強になりました。
②不登校児童を強制的に学校に送り込む保護者の行為や、発達障害児に過剰に保護的に接することは、自己決定の機会を無くし弱者に追いやることになってしまうと思いました。
③地域や立場の違う方たちと一緒に学ぶことができ、改めて自分の視点が子ども寄りだったことに気付きました。子どもたちの将来にも目を向けていくことも必要だと思いました。
④地域資源については「地域」によって本当に違うと感じました。まず地域性を知ることの大切さを思いました。
⑤吉川先生の講義では、地域社会資源を確認する機会にもなりましたし、他市の様子を知ることができ参考になりました。自分の市にも取り入れたいと思うものもあり、働きかけていきたいと思いました。
⑥地域資源について知らない機関が多いことが分かった。教員としての立場で、利用する可能性があったことについては知ってはいたものの、いろいろな立場の人からいろいろな資源が出され、勉強になった。

宇都宮講師の講義について

⑦ケース会議の具体的な進め方がVTRでよく理解できた。つい、互いを責めるとかどこに責任があるとか対応の悪さについて話がいってしまうが、それぞれができることをその子のためにしていく、このスタンスを大切にしていきたい。
⑧ケース会議のVTRは機会があればすべて見たいです。
⑨ケース会議の具体例が見られたことが大変良かった。学校がこの知識を持つことによって合理的

な会議運営が可能になると思った。
⑩宇都宮先生の講義は相談援助のプロセスや SSW の役割等具体的なお話しでよくわかりました。映像資料、特にケース会議や拡大ケース会議の映像が実際の様子をとらえやすく大変勉強になりました。
⑪一番は、ケース会議のビデオである。確かに理論も大事であり、理論あっての実践であると思うが、やはり今、自分が求めていることは具体的な事例をもとにした実践例である。
⑫SSW の国際的な定義や、基本的知識が得られたことが有意義でした。また、宿題でわが町の期間を調べたことで、自分が知らなかったことが分かり、良い機会となりました。
⑬ケース会議の DVD を見ることで、ケース会議とは何か、どんな効果があるのかが理解できました。学校の現職教育などで見ていただけると、SSW の働きやケース会議の効果が学校全体で共有できるのかなと思いました。一部の先生でなく、皆さんに伝わるといいですね。

TA の発表について

⑭豊田市の一歩先を行く SSW の配置の仕方の取り組みに対し、学校の現場がまだまだ理解されておらず、活用できていない現状を自分自身も身を持って感じています。よりよい SSW との連携につながるような役目を伝えるよう勉強したいと思いました。
⑮SSW として実際に活躍されている方のお話を聞くことができてとてもよかった。“迷いながらの活動”という言葉に、教員と一緒に悩んでくださっているのだと嬉しく思いました。
⑯TA の話が良かった。実体験がとてもよかった。
⑰とても参考になりました。もっとくわしくお聞きしたいと思いました。（具体的なケースで）
⑱「迷うことを大事に！人間を相手にしている。揺れながら支援していく」という言葉は常に心に留めておこうと思います。

全般的感想

⑲日頃、ケース会議を開くことの多い現場ですが、今日の講義を受けて、これまでの会議のとり回しの悪さを反省しました。今日の学習を明日からの現場で活かせるのでやってみたいと思います。
⑳連携について、電話番号を知っているだけのところがあるので、行ってみる、会ってみる、話してみるを実行しようと思いました。
㉑今回の研修ではないですが、前回の講義の補足資料はとても参考になり、ありがたかったです。お手数をおかけすることかと思いますが、今後もよろしくお願いします。

■ *１月合宿の出欠確認について*

前回お渡しした出欠票を 12 月 6 日に集めますので、よろしくお願いします。以下は再掲。

宿泊施設：猿投温泉 ホテル金泉閣（豊田市加納町馬道通 21　TEL:0565-45-6111）
参加費：1 泊 2 食 13,608 円+飲み物代＝約 15,000 円（懇親２次会は、自販機にて各自持込）
　　夕食会（温泉付）のみ参加の場合：5,832 円+飲代＝約 7,200 円
【1 月合宿プログラムの概要】
＜1 月 10 日（土）＞
午後 1 時～5 時　研修
午後５時 15 分　大学正門よりホテルの送迎バスにより移動。マイカーは大学に翌日まで駐車可能。
　　マイカーによる移動も可（ホテル無料駐車場有）。
5 時 30 分～7 時　各自部屋へ移動ののち、温泉タイム
7 時～8 時 30 分　夕食会（懇親会）
9 時～　懇親二次会・温泉タイム（和室にテーブルと腰掛イスを宿泊人数分用意します）
＜1 月 11 日（日）＞
7 時～8 時 30 分　朝食・温泉タイム
8 時 30 分　ホテルより大学まで送迎バスで移動
9 時～午後 1 時　研修